

ゴマ、ナタネ 油搾り器開発

山口のメーカー
販促に役立てて

自宅で搾りたての油を
楽しめる家庭用の手動式
油搾り器を、山口県の石
野製作所が開発し、売り
出した。名付けて「SH
IBORO」＝写真。山
口県産業技術センターと
共同開発した。「直売所
のレストランなどで、搾
りたてを味わってもら

い、ゴマやクルミ、ナタ
ネなどの販売促進に使っ
てもらいたい」と同社の
石野隆三社長は期待す
る。

小型の家庭用搾油器は
少なく、地域の農家から
の要望もあって開発に取
り組んだ。ステンレス製
でシリンドラーの中に素材
（ゴマなら30gほど）を入
れ、レバーを使って搾る
だけ。おしゃれなデザイ
ンで食卓に置いても違和
感がない。「搾りかすもク

ツキーやあえ物に使うと
無駄なく活用できる」と
石野社長。搾油の歩留ま
りは素材によって違っ
が、20%前後という。

1台約12万円。問い合
わせは同社、(電)0835
(56)0210。

